

1. 目的: 粉石けん使用 1~2 箇月後位からおむつのピンク色変現象が散発しており、その原因については 1~2 の説が出ているが未だ十分解明されていないように思う。我々は、おむつの色変原因には微生物が関与しているであろうという推定のもとに解明を試みた。その結果おむつのピンク色変は、おむつに残留する微量の粉石けんと尿素とを栄養分として増殖する酵母あるいは緑膿菌に起因することを確認し得たのでここに報告する。

2. 方法:

- 1) 検体: 大津市・木戸市・熊谷市・藤沢市・東京都内で入手した 5 検体で、いづれも粉石けん使用後 2~8 箇月のピンク色変した綿おむつ。日光乾燥してある。
- 2) 微生物の分離: ① ブイヨンあるいは麦芽汁を入れた液体培地中に無菌的に検体小片を入れて 37°C, 25°C で培養し、前者は普通寒天後者は麦芽寒天平板にそれぞれ白金耳で画線塗板してバクテリアあるいは真菌を分離。② 無菌的に切り取った 10cm² 検体を緩衝生理滅菌水 50ml 中に細片して入れ、振盪し法で菌の浮遊液を作成し十進希釈法で希釈した後常法通り標準寒天、デソキシコレート寒天、麦芽寒天などと液状平板して菌を分離した。
- 3) 分離菌の同定: 形態的・生理的特性を試験して同定した。
- 4) *in vitro* に粉石けん、尿素と分離菌の増殖・生産色素との関係を見て、布で試験した。

3 結果 以上の実験によりおむつのピンク色変の主たる原因は赤色酵母の *Rhodotorula* にあるものと判明した。しかし検体によっては *Pseudomonas aeruginosa* が関与していた。